

自然観察装備

分類	チェック	品目	備考
衣類	※	帽子	頭保護、防寒、防雨、日射病対策
		タオルまたはバンダナ	汗、防寒、遮光…用途万能!!
		長袖Tシャツ	肌の保護
		トレーナー	防寒
		長袖ジャージズボン	
		厚手の靴下	
		ハイキングシューズ	厚底、くるぶしまでのものbetter
雨具	※	ウインドブレーカーまたは レインウェア	防寒、防雨(通常リュックへ)
		折りたたみ傘	
装備品		リュック	両手が使えるよう
	※	水筒 1ℓ以上	1日行動2ℓ、口のしっかり締まるもの。ワンタッチ式はリュックの中で口が開く。雑菌が繁殖するため、直接口をつけずにコップを
		コンパス(方位磁針)	
		地図	
	※	ティッシュ	トイレ、食器ふき
		腕時計	
		ペン	意外と忘れる
		メモ	野帳
		軍手	手の保護、防寒
		杖	足の保護、下りに有効
		懐中電灯	両手が使えるヘッドライト推奨。夜間以外にも薄暗い場所あり
	※	携行食	□塩飴、□チョコ、□カロリーメイト、□パン、□おにぎり、… つゆやゴミが出ず、軽量のもの。
		グランドシート	湿った地面での休憩用
	※	¥小銭	バスや電車
		携帯電話	圏外多い。カメラとしても
医療品		絆創膏	切り傷
		毛抜き	とげ抜き。意外と使う
		持病の薬	
団体		AMラジオ	ニュース・天気、雷検知。スピーカー式は疲れない
		無線機／予備電池 ／予備アンテナ	無線機や懐中電灯で使えなくなった電池でも、ラジオだと使用可。同型電池だと有効利用できる。携帯電話の圏外多い
観察用具		ルーペ、双眼鏡、採取容器、等	各自のテーマに沿って

2016 (H28) . 7. 26 鞍掛山ハイキング JA1YEF/茨城県立日立第一高等学校・附属中学校)

目的: ①中学科学部、体力テスト!! ②フィールドワークに必要なものを経験。

参加: 科学部 23名参加 朝小雨～曇り、課外終了後11:00出発、晴天

地図:

時間 時刻	場所・メモ	備考	行程写真抜粋(詳細は写真ホルダー参照)
-------	-------	----	---------------------



神峰公園展望台。周囲に転がっているのは日本最古5億年前の岩石群。見渡す日立市街は河岸段丘。

山頂は草と虫だらけ、安全な証拠!

FMひたちの送信所も発見。朝方悪天候だったため中止予定でした。晴れ男・晴れ女がいるのかな・・・?



<p>中学生の基礎体力を甘く見た。 顧問が真っ先にバテた・・・。 「シミュレーションだけに頼らず、自然をリアルに感じる科学者たれ!!」</p>		



私は元気!!



展望台には縁結びの鍵が多数

2016 (H28). 8. 11 神峰山 (JA1YEF/茨城県立日立第一高等学校・附属中学校)

目的: ①中学科学部、自然観察会 ②フィールドワークに必要な技能を経験。

参加: 科学部16名+お父さん1名+引率 関山 参加 曇り~終盤快晴(前後は記録的猛暑日!!)

地図: 国土地理院1/25000ペースのオリジナル地図(コースを事前GPS計測・記入/ナシミール&GPSロガー) ルート: 初心者向け歩行2h、バス停起点、トイレのあるコース

時間	時刻	場所・メモ	備考
	8:30	日立駅前集合	★トイレ
20	8:40	60番 東河内 行き 日立駅中央口バス停発	
	8:46	神峰公園口バス停	
	9:00	石炭山口バス停 下車(¥400)	
60	9:10	ミーティングの後、出発	
		観察池①	写真①
		神峰神社参道入り口(石碑)	写真②
		式の鳥居休憩	写真③
		参の鳥居休憩	写真④
	10:10	神峰山・神峰神社着	写真⑤
		休憩・気象観測所跡・ハート池観察・記念撮影	写真⑥⑦
35	11:00	山頂発	
	11:35	日鉱記念館への分岐	
15		旧道登山口(旧本山トンネル入り口付近)	写真⑧
	11:50	日鉱記念館前バス停近くの旧県道にて昼食	★日鉱記念館 休館日だが トイレ解放!!
26	12:12	東河内 行きバス	
	12:56	日立駅 行きバス(¥440)	
	13:22	日立駅着、解散	



16名の科学部探検隊、神峰山から日立市街

日立市神峰山周辺地図(下図)、青線=磁北線

(緑線がGPS実測コース。地図にない道、震災によるずれやコース変更あり)



神峰山から日立市内眺望



(左)昭和41年(50年前)の展望/物理部撮影

(右)平成28年の展望/科学部撮影



①池

②参道口

③式の鳥居

④

⑤神社

⑥観測所 ⑦池

⑧旧道登山口

⑨舗装された旧県道が続く。失われた町?飯を食う!!

⑩日鉱記念館前バス停(右)

身近なところにこんな世界があります。今回は歩くだけでしたが、今後観察が出来るといいですね。高い山には、それに続く長い長い尾根があります。一步一步歩いているといつの間にかすごい距離を歩いたことに気が付き、すばらしい展望が開けます。さあ、歩きましょう。小さな科学者諸君!自然はすばらしい!リアルな世界をよく知った科学者になってください。